
三和シャッターOB会

設立30周年
記念誌



写真は太田ドア工場の樹齢30年の桜

設立30周年記念誌 発刊にあたって

三和シャッターOB会 会長 瀧川 尚雄



三和シャッターOB会は、昭和62年に『会員相互の親睦を図り、三和シャッター工業株式会社との相互信頼を高める』ことを目的に発足して以来、ここに設立30周年という記念すべき年を迎えることができました。

当初51名でスタートしたOB会が現在1200名を超える会に発展できたことは、これもひとえに歴代役員の皆様をはじめとする会員の方々のご尽力、会社のご理解ご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

初代会長は保田栄一元取締役が、相談役に先代高山萬司相談役が就任され全国展開することになりました。以来、歴代会長のもと定期総会・懇親会・慰安旅行の開催から支部創設、活動費捻出、支部長会開催、同好会活動の推進などが進められてきました。又、この10年間には、ホームページの開設、運営協力金の導入、物件紹介制度の見直し等を進め、現在は全国に8支部を展開し各支部での親睦会活動も年々多様化・活性化しています。これも役員の方々のボランティア精神の大いなる発揮と会員の皆さまの積極的な参加やご協力あつてのものと、この場をお借りして感謝申し上げます。今後とも、運営協力金及び物件紹介制度にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

会員の皆様よりお預かりしております、会費の累計は現在17,500,000円となり皆様への慶弔給付金として管理しております。又、毎年お願いしております運営協力金は、昨年度424名の方より総額1,250,000円にも及ぶご協力を頂き感謝しております。これらは各支部の運営・活動費として活用させて頂くとともに、その20%は本部経費として、支部長会・各支部総会開催の関連経費等に活用させていただきます。

OB会は定年時の入会が原則ですが、雇用継続が定着しつつある現在、年度別入会人数の把握が困難になっています。本部経費が新入会員の一会費を予算としており今後の課題です。会員の皆様には、ホームページの本部、各支部の活動状況や慶弔報告も閲覧願ひ、OB会への関心を高めて頂ければありがたいと考えております。又、日々の出来事や趣味・健康にまつわる話題など、閲覧・投稿をお願いします。社内報「SANWA」号においては“支部便り”を掲載していただいておりますので、毎号楽しみにしてください。

当OB会は、現役時代の役職及び上下関係を排除した新たな親睦会をモットーに、“みんなで楽しく、くつろげる会”になっており、名前しか知らなかった仲間と、同好会で親しくなれたとの話も多くあります。是非各地区の同好会活動に積極的に参加いただき、ゴルフに、散歩に、カラオケ、麻雀と、OB会の第一の目的であります親睦を深めていただけたら幸いです。

設立30周年記念誌を刊行するにあたり、多くの会員の皆様よりご祝辞、ご寄稿を頂いたこと、会社より多大なるご援助をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。これからの30年も視野に入れ、魅力ある情報発信が出来るOB会として、そして長寿社会における定年後の長い時間を健康で仲間と一緒に楽しく過ごす支援が出来るOB会として、運営・活動の充実を図ってまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝と、ご多幸を心から祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



三和ホールディングス株式会社
代表取締役会長 CEO

高山 俊隆



三和シャッター工業株式会社
代表取締役社長

高山 盟司

祝 三和シャッター OB会設立30周年

このたび、三和シャッターOB会が設立30周年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。発足当時わずか51名だった会員数が、30年の時を経て1200名を超えるまでになったとのこと、その確かな歩みに敬意を表します。会員相互の親睦を目的に行われている様々な活動は、会員各位の心豊かな人生を送るための貴重な精神的拠り所になっていると思われ、実に意義深い活動であると感じ入っている次第です。

三和グループも、昨年、節目の創立60周年を迎えることができましたが、ここまで来られましたのも、創業の精神である「真面目に働く者の同志的集団であること」を基軸として、目の前の課題を愚直にやり抜くという三和の良き伝統があればこそであり、この伝統を築き上げ、今日まで継承いただいた会員各位に、この場を借りて感謝申し上げます。

現在、三和グループは「動く建材のグローバルメジャー」を目指し、様々な施策に取り組んでいます。その中で三和シャッター工業は、多品種化の推進、防火設備の点検法制化への対応など、グループの中心として不断の努力を重ねております。今後も心温かく、後輩たちを支えていただければ幸いです。

最後に、三和シャッターOB会の益々のご発展ならびに会員各位のご健勝を祈念して、お祝いの言葉といたします。

三和シャッターOB会 設立30周年をお祝いして

このたび、三和シャッターOB会が設立30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。昭和62年の51名での設立から、現在では1200名を超えるOB会になったとのこと、会員の皆さまが築き上げた会の着実な歩みに敬意を表します。

現在、全国8支部において活発に同好会が開かれ、親睦が深められていることを喜ばしく感じております。また、当社の取引に関して多大なるお力添えを賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、当社は現在、「ビジョン2020」の第二次3ヵ年計画として『確立した成長基盤を、更に各事業「強固なポジション」の確立を目指して挑戦し続ける3ヵ年」と位置づけ、その達成のため、特に、エントランス事業、間仕切事業等の多品種化の完全定着を進めるとともに、昨年6月に防火設備の定期検査制度が施行されたことを受け、OBの皆さまが販売・施工された防火シャッター等のストック市場を成長の糧として、更なる発展に向けて各部門が連携して取り組んでいるところです。

OBの皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、会員の皆さまのご健勝とご多幸、そしてOB会の活動が益々ご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞 思い出～あの日あの時～



三和シャッターOB会
第3代会長
八巻 利幸
(1998年度～2000年度)

仲間に助けられた 支部創り

当時、会員の増加を会の発展につなげるには地域活動が原点と考え、支部設立を目指しました。この仕事の遂行に当り私の社歴が役に立ちました。私は北海道で入社以来、東京・名古屋・四国・広島・大阪の地で勤務、営業推進部時代には業務上全国を走り回り、仕事を通じ多くの仲間が出来ました。

まずは仲間の皆さんを頼りに電話し、支部設立の準備会(日程・会場・会員集め等)の設営をお願いし、順次開催の運びとなり一安心しました。

当日は午後準備会、夜の会食は飲交わしながらの懇談、翌日はゴルフなどで楽しみ支部設立の一歩となりました。地域により数回の話し合いもありましたが、約2年間で費やしほぼ完了しました。

準備会には私ひとりでは心もとなく、全国に仲間の多い佐藤正憲さん(故人)、山田武男さん、西村正義さん達に同行いただき、心強く助かりました。また当時OB会には活動資金は無く支部創りに関わった仲間の方にはボランティア精神で奉仕頂いた形となりましたがその仲間意識が支部設立を成功させた原動力であったと信じます。支部創りに関わっていただいた仲間の皆さんには改めて深く感謝を申し上げます。

このたび30周年を迎えます三和シャッターOB会がますます発展されますようご期待申し上げます。



三和シャッターOB会
第4代会長
岡田 昭夫
(2001年度～2004年度)

回想“5千円は使える”

まずは設立30周年おめでとうございます。その中間期に幾許か関わっていたのかと思うと、多少の感慨を禁じえません。

十数年前の事ゆえ記憶も定かではありませんが、こんな事がありました。役員定例会での愚痴ともつかぬ議題の一つに運営費の潤沢化がいつも付きまわっていました。会員数は今の半数以下の数百人。金利も今ほど極端でないにしても低く、終身会費の2万円は会員の死亡時に1万円、残りの1万円で喜寿・米寿・白寿のお祝い各5千円の給付となると非常に厳しいものがありました。勿論会社から幾許かのご寄付を頂戴していましたが、常に節約ムードを余儀なくさせられていました。

終身会費の値上げも論じられましたが、全員が百歳をクリヤー出来るわけでもなし、1万円の内使えるお金が有るとしたら幾らなのかと考えました。

そこでベースになったのが或る保険会社の男女別百歳までの死亡率でした。死亡率から逆算した生存率は男性の喜寿70%、女性80%、米寿はそれぞれ22%と30%、白寿は共に1.5%でOB,OGの比率を8対2として、72%・24%・1.5%として計算してみました。

1万円-5千円(72%+24%+1.5%)=5125円>5千円

これ以後運営費として5千円は使えることになりました。



三和シャッターOB会
第5代会長
山田 武男
(2005年度～2006年度)

OB会の更なる躍進と 増員について

設立30周年を迎へ、多くの先輩達の御苦勞と功績に感謝しますと共に誠におめでとうございます。

岸本元会長の“牛に引かれて”本の中での一説に「誰かがやらねばならないことは、誰かがやらねばならない…」平成17年5月の総会で、誰かの5代目の会長を2年間の約束で引き受けました。当時北海道支部はOB会は既に発足しておりましたので、北海道OB会の総会、懇親会に出席し、活動方法を聴取し、全国8支部の総会、懇親会に出席し、活動方法の内容、時期等各地区の素晴らしい利点を各地区のOB会に説明し、推進役に努めた。幸いにも私の現役時代は、北海道地区を皮切りに、関西地区事業部オーバースライダー、昭和フロント(株)で中四国地区、九州地区とその後東京に転勤となり、東北地区、関東地区、中部地区を担当した関係で私の同輩、後輩が沢山おり、お互いにOBとなり、スムーズに意見交換が出来、参考にして呉れたのではないかと思います。当時本部でも各地の意見を取り入れ参考にしました。私の会長時代に私の同期学生の仲間にOB会があるかどうか調査した事があるが、ほとんど皆無だった。今になってみるとOB会の存続は非常に貴重な財産で又ニュースソースの根源である。どうか永久に継続するようにお互いに先輩、後輩との繋がりを大事に、灯火を消さない様に陰ながら、協力します。



三和シャッターOB会
第7代会長
門野上 信治
(2009年度～2010年度)

三十周年を迎えて

東京オリンピックの開会式を雀荘のテレビで見、あくる年の昭和40年に三和に入社した。また2度目のオリンピックがやってくる。早いもので三和を卒業して14年過ぎた。男性の平均寿命は80歳と言われているが、だんだん残りが少なくなってきた。もうひとふんばり頑張っ勝組になろうと思っている。多くの友人も亡くなった。という私も脳梗塞を発症し一命をとりとめ、今は恐る恐る品行方正の毎日を過ごしている。

ノルマもなく、時間はたっぷり、起床・就寝は自由きまま、優雅に暮らしている?

30年前、50名ほどの会員でOB会が発足した。先輩諸氏の努力で会員数も1200名をはるかに超え隔世の感がある。

当時は毎年、伊豆の保養所で総会・懇親会を開き、あくる日はゴルフ組と観光組に分かれて楽しんだ。今は会員数の増加で保養所では収容しきれなくなり、東京に会場を移しOB会総会を開催している。1年に1度の会員相互の元気を確認する会でもある。

当初は予算もさほどなく会の運営に幹事は手弁当で、いつも四苦八苦したものである。

運営協力金のかたちで皆さんから寄付金を仰ぎ、一息ついたのである。今日に至るまで続いている。今後は後期高齢者向けの企画をOB会に期待する。

30年のあゆみ

	OB会のあゆみ	三和シャッターのあゆみ	世の中の動き
1987年(昭和62年)	5月三和シャッターOB会設立 第1回総会開催(於:新宿本社) 保田栄一初代会長 会員数51名	・12月 高山萬司相談役死去 ・三和エクステリア設立	・国鉄分割民営化 ・バブル期に入る
1988年(昭和63年)	第2回総会開催	・決算期3月末変更 ・安和金属設立	・青函トンネル開通 ・リクルート事件
1989年(平成元年)	第3回総会開催	・売上1,500億突破	・1月8日 平成に改元 ・ベルリンの壁崩壊
1990年(平成2年)	第4回総会開催	・研修センター竣工 ・株価2,750円に ・昭和建産に資本参加	・礼宮・紀子さまご成婚 ・天皇陛下即位の礼
1991年(平成3年)	第5回総会開催	・売上2,000億達成 ・テクノセンター竣工 ・伊豆高原保養所竣工	・ソビエト解体 ・バブル崩壊
1992年(平成4年) OB会設立5周年	第6回総会開催(於:テクノセンター)	・昭和フロントに変更	・佐川急便事件 ・学校の週休二日制
1993年(平成5年)	第7回総会開催(於:中部) 鈴木武四郎会長(第2代)	・製販分離体制 ・ジャンボドア工事	・皇太子結婚 ・非自民内閣発足 ・東京サミット
1994年(平成6年)	第8回総会開催(於:福島)	・コストTPマネジメント導入	・松本サリン事件 ・関西国際空港開港
1995年(平成7年)	第9回総会開催	・震災支援体制 ・工事員育成学校開校	・阪神・淡路大震災 ・地下鉄サリン事件
1996年(平成8年)	第10回総会開催(於:長野)	・沖縄三和シャッター設立 ・ODC社がグループ入り	・【O157】食中毒多発 ・住専処理6,850億投入
1997年(平成9年) OB会設立10周年	第11回総会開催(於:伊豆高原保養所)	・湯布高原保養所竣工 ・ソーラーウォール発売	・消費税5% ・アクアライン開業
1998年(平成10年)	第12回総会開催(於:伊豆高原保養所) 八巻利幸会長(第3代) 会員数247名	・新九州工場竣工 ・SAN-Q稼働	・山一証券廃業 ・長野オリンピック
1999年(平成11年)	第13回総会開催(於:伊豆高原保養所) 全国8支部創設	・足利・太田工場他でISO認証取得	・東海村で 臨界事故発生 ・臓器移植法、 初の臓器移植
2000年(平成12年)	第14回総会開催(於:伊豆高原保養所) 第1回全国支部長会議開催 会員数342名	・三和タジマ設立 ・希望退職者181名	・三宅島噴火 ・介護保険法
2001年(平成13年)	第15回総会開催(於:伊豆高原保養所) 岡田昭夫会長(第4代) 会員数532名	・明治アルミ解散 ・リビング百十番	・アメリカ同時多発テロ ・小泉内閣発足
2002年(平成14年) OB会設立15周年	第16回総会開催(於:伊豆高原保養所) 入会金を本支部活動費として運用開始 規約改正、退職後の入会認める 会員数577名	・「使命・経営理念・行動指針」制定 お客様相談センター開設	・日韓サッカーワールド カップ ・拉致被害者 24年振り帰国

	OB会のあゆみ	三和シャッターのあゆみ	世の中の動き
2003年(平成15年)	第17回総会開催(於:伊豆高原保養所) 本部に各支部担当者を置く 会員数624名	・ノボフェルムグループ買収	・新幹線品川駅開通 ・SARS流行
2004年(平成16年)	第18回総会開催(於:伊豆高原保養所) 会員数672名	・回転ドア死亡事故発生 ・CSR推進室新設	・中越沖地震 ・プロ野球史上初スト
2005年(平成17年)	第19回総会開催(於:伊豆高原保養所) 山田武男会長(第5代) 各支部で同好会活動開始 会員数712名	・ホーチキと業務提携 ・上海宝産三和設立	・JR福知山線脱線事故 ・愛知万博
2006年(平成18年)	第20回総会開催(於:グリーンパレスH) 会員数746名	・創立50周年	・ホリエモン逮捕 ・村上ファンド代表逮捕
2007年(平成19年) OB会設立20周年	第21回総会開催(於:グリーンパレスH) 西村正義会長(第6代) 運営協力金(寄付)募集開始 会員数793名	・持株会社へ移行、 三和ホールディングス(株)誕生 ・福岡事務所ビル完成	・郵政民営化
2008年(平成20年)	第22回総会開催(於:伊豆高原保養所) 会員数863名		・リーマンショック ・洞爺湖サミット
2009年(平成21年)	第23回総会開催(於:グリーンパレスH) 門野上信治会長(第7代) ホームページ開設 会員数932名		・鳩山内閣発足 ・裁判員制度発足
2010年(平成22年)	第24回総会開催(於:グリーンパレスH) 会員数1,003名	・独禁法28億課徴金	・ねじれ国会 ・猛暑
2011年(平成23年)	第25回総会開催(於:グリーンパレスH) 石原利朗会長(第8代) 会員数1,054名	・創立55周年 ・営業停止 ・総括営業所制	・東日本大震災 ・福島原発事故 ・金正日総書記死去
2012年(平成24年) OB会設立25周年	第26回総会開催(於:グリーンパレスH) 運営協力金20%本部経費に 北海道OB会30周年 会員数1,100名		・スカイツリー開業 ・自公安倍内閣
2013年(平成25年)	第27回総会開催(於:グリーンパレスH) 会員数1,150名	・グローバル2020	・65歳定年制
2014年(平成26年)	第28回総会開催(於:大森東急イン) 澁川尚雄会長(第9代) 会員数1,178名	・営業利益206億	・STAP細胞騒動 ・消費税8%
2015年(平成27年)	第29回総会開催(於:大森東急イン) 会員数1,214名		・マイナンバー始まる ・パリ同時多発テロ
2016年(平成28年)	第30回総会開催(於:大森東急REI H) 会員数1,214名	・創立60周年	・リオ五輪 ・新東京都知事に小池氏 ・熊本地震
2017年(平成29年) OB会設立30周年	第31回総会開催(於:大森東急REI H) 30周年記念式典・祝賀会開催 記念誌発行 会員数1,252名		

写真で見る30周年

三和シャッターOB会の設立から30年。

私たちの今日までの歩みを、総会時の写真を中心に振り返ります。

1987(S62) 第1回総会



1988(S63) 第2回総会



1992(H4) 第6回総会



1993(H5) 第7回総会



1994(H6) 第8回総会



1996(H8) 第10回総会



1997(H9) 高山家お墓参り



2000(H12) 第14回総会



2001(H13) 第15回総会



2002(H14) 第16回総会



写真で見る30周年



2003(H15) 第17回総会

2004(H16) 第18回総会



2008(H20) 第22回総会

2008(H20) 中四国支部総会



2011(H23) 第25回総会



2009(H21) 第23回総会



2010(H22) 第24回総会



2005(H17) 第19回総会



2006(H18) 第20回総会



2012(H24) 北海道OB会 30周年記念総会



2012(H24) 第26回総会



2007(H19) 第21回総会



写真で見る30周年

2013(H25) 第27回総会



2015(H27) 第29回総会



2013(H25) 関西支部総会

2014(H26) 第28回総会



2016(H28) 第30回総会



本部・支部 役員名簿 (2016年度)

■ 本部役員

役職	氏名
会長	澁川 尚雄
副会長	福地 成治
相談役	西村 正義
相談役	石原 利朗
監事	飯草 逸夫
幹事	大東 和弘
幹事	宮原 國彰
幹事	渡辺 昌義
幹事	丸山 恒雄
幹事	片桐 康司
幹事	黒武者 光文
幹事	石山 佐市
幹事	佐藤 友雄
幹事	藤田 章雅
幹事	宇高 正
幹事	高橋 博
幹事	滝原 秀器
幹事	寺島 和夫
幹事	今井 章
幹事	市岡 次郎

■ 支部役員

支部	役職	氏名
北海道 131名	支部長	高倉 義明
	副支部長	宮越 健二
東北 89名	支部長	池田 芳昭
	副支部長	渡辺 信之
	副支部長	山田 一夫
関東 123名	支部長	横田 悟
	副支部長	金田 修悦
	副支部長	内山 常治
東京 385名	支部長	福地 成治
	副支部長	渡辺 昌義
	副支部長	片桐 康司
	副支部長	黒武者 光文
	副支部長	市岡 次郎
中部 155名	支部長	大洞 勤
	副支部長	水江 則博
関西 105名	支部長	成瀬 全弘
	副支部長	佐藤 吉男
中四国 145名	支部長	田邊 正
	副支部長	中西 好昭
	副支部長	大西 正博
九州 119名	支部長	稲富 時彦
	副支部長	蒲原 一成

※数字は会員数(合計1,252名) 2017.3.31現在

■ 支部長会議メンバー(2016年度)



北海道支部



大切なのは、健康年齢の維持



支部長 札幌市
高倉 義明

OB会設立30周年おめでとうございます。北海道支部は、その5年前に誕生しましたが、現在6つのレク・サークルが年間で延べ人数約700名の参加により活発な活動を展開しています。OB会を立ち上げて戴いた先輩の方々への感謝と共に、活動の質を上げて後輩に繋いで行く責任も感じています。私自身も全てのサークルに参加し仲間との触れ合いを楽しんでいます。会員の平

均年齢も上昇し、健康年齢格差が広がっている感が有ります。今年の樽前山登山の参加人数は12名で徐々に減って来ましたが、平均年齢は何と74歳でした!アクティブな活動を展開し会の活性化を図ると共に、今後は健康面でそれが叶わない会員情報もしっかり集約する事が課題となります。全国の会員の皆様のご健康を心よりお祈り致します。



三和は私の誇り、青春そのものだった

札幌市
高石 晴俊

この度、OB会30周年を心からお祝い申し上げます。三和で働かせて頂き高山萬司創業社長にお世話になったのが原点で、昭和57年に北海道OB会を仲間と発足、会員相互の親睦・会員死亡時の供花、そして三和シャッターの発展に寄与する事を目的に現在に至っています。世界の三和に成長させた高山俊隆会長に敬意を表し、全国OB会員皆様の御健勝を祈ります。



OB会活動で健康維持

札幌市
高橋 千代治

OB会30周年おめでとうございます。北海道支部ではレク活動が盛んで、皆さん春から秋にかけて健康維持も兼ねてアウトドアを満喫していますが、特に北海道はパークゴルフ場が身近な所に有りプレーを楽しんでいます。「生老病死は辿る道」健康で老後を楽しみ過ごす事にOB会は貢献しています。これからも元気で絆を深めていきましょう。



送迎ボランティアの定年を迎えて

札幌市
梅澤 洋二

設立30周年を迎え、今後一層のご発展を心より願っております。私事ですが、平成15年より続けていた送迎ボランティアを3月末日で72歳、定年を迎え充実した12年間でした。これからも北海道支部の各サークル、花見、ゴルフ、ハイキング、カラオケ等で尚一層親睦を深めて行きたいと思っています。今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。



OB会は余生の心の支え

北広島市
高田 政明

全国三和シャッターOB会の皆様、お元気でしょうか? OB会の運営にご尽力されている方々に感謝申し上げます。当支部でもOB会活動は活発に行われ、私はパークゴルフとマージャン同好会で自身の健康生き甲斐作りに邁進しています。OB会を余生の心の支えと考え、生涯現役でと願っています。OB会の益々の発展と皆様のご健康をご祈念致します。

東北支部



東日本大震災と私



支部長 仙台市
池田 芳昭

三和シャッターのOB会設立30周年おめでとうございます。在職中は幾度かの転勤をしてきましたが、その時の出会いが貴重な財産となりました。退職して10数年となりますがその中で悲惨な出来事が東日本大震災でした。本部の協力で会員の安否確認をしましたが、残る一人の生死がなかなかつかめませんでした。最後の方法として旧住所宛に「無事ならば連絡を」と手紙にし

て投函しました。約10日後「被災日から約2ヶ月」仮設住宅にいと本人から電話連絡があり、嬉しさと同時にほっとした気持ちがこみあげてきました。私も多くの知人仲間から支援を戴き普通の生活ができる喜び・幸せ・有難さを実感しました。最後に会員の皆様も懇親会等に出席され懐かしい仲間と一献くみかわしたらどうでしょうか。



三和シャッターOB会に参加して

仙台市
渡辺 信之

三和シャッターOB会設立30周年おめでとうございます。定年退職して早々年、支部OB会に参加して懐かしい顔ぶれが参加、古い話に和気あいあいと過ごす。元の上司部下、先輩後輩等は関係なく年齢の先輩後輩だけ、昔の良い話やまずい話とか?etc
元の製造、管理、営業職の皆様方の参加期待。



フォークダンスで明るい自分づくり

盛岡市
佐々木 晃

お世話になった先輩・同期後輩の皆様、おかげさまで元気を続けている私です。
退職と同時にフォークダンスサークルに入会し、週三日元気な「ジージバーバ達」と手をつないで踊って楽しみ、ダンス公認指導員の資格も取れたので新人指導のボランティアも並行しております。体の多くの部分を使うダンスなので「健康維持」「ボケ防止」の楽しみな時間です。



在勤中の思いで

仙台市
山田 一夫

三和シャッターOB会30周年記念おめでとうございます。私は在勤43年中職種が設計・営業・工事・販売促進と色々な経験を転勤も13ヶ所と多く友達と別れたくないとい子供から不満が出る事も再三でした。しかし、後で思えば、新しい土地での人との新しい出会いがあり、新しいつながりが生まれる。



東日本大震災のこと

郡山市
佐藤 智樹

この度はOB会発足30周年お目出当うございます。又創立60年の節目に当たりますが思い起こせば私が入社したのは創立20周年の時帝園劇場にて式典が行われた事を鮮明に覚えております。私が定年直前に仙台で東日本大震災に遭遇した際、三和の全国地域から支援物資、復旧工事の応援もらい三和の総合力を感じると共に、普段の当り前の生活のありがたさを感じました。

関東支部



経験を生かし、お礼奉公



支部長 足利市
横田 悟
(旧姓/田部井)

30周年を迎え、誠におめでとうございます。小生は昭和48年本社に入社し、仙台営業所に赴任以来、宮城、福島、栃木、長野、茨城の各県営業所で。また卒業前の3年間は一ホーム足利店でお世話になりました。家族共々の転勤赴任先では多くの皆様にお世話になり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。在職中は休みを利用して会社の仲間と山行。東北では鳥海山、早池峰山や燧ヶ岳から尾瀬ヶ原。関東周辺では日光

白根山、男体山、長野では木曾駒ヶ岳、そして昨年の夏は北アルプス・燕岳～大天井岳～槍ヶ岳に挑戦。天候にも恵まれ、疲労の中にも登頂の心地よい達成感を味わうことができました。

現在は関東工務課で大手ゼネコン現場の安全パトロールや安全協議会に出席、また現場の打合せ等々のお手伝いをしております。今後も三和グループの益々のご健闘を祈念いたします。

東京支部



次の世代へ積極的に参加を!



支部長 三鷹市
福地 成治

30周年を迎え、歴代の役員の皆様、諸活動に参加して下さる皆様、寄付をして下さる皆様に改めて感謝申し上げます。

東京支部は会員数372名、同好会会員107名ですが、運営協力金では159名と多くの方に寄付を頂き会の運営面で大変助かっています。取組みでは、地域に見合った親睦を図る県別(東京・埼玉・千葉・神奈川・山梨)のブロック活動、趣味を楽しむ5つの

同好会(東京散歩散策・ゴルフ・囲碁将棋・カラオケ・中国文化研究会)活動を実施中です。課題としては、仕事を継続するシニア社員の増加に伴い同好会メンバーの高齢化が進み参加者が減少、運営協力金(寄付金)も減少傾向です。アンケートハガキの集計では元気な方が80%、その内仕事を継続している方40%とまだまだ元気な方が多く積極的参加をお待ちしています。



会員諸氏に感謝

足利市
若月 禪

三和シヤッターOB会、設立30周年おめでとうございます。私が定年退職をした年にOB会を発足させようということになり、役不足とは思いつつ引き受けました。当初支部内に各県のブロック制を設け現在に至っております。各種会合の集まりが悪いことが頭痛の種。後続の支部長に頑張ってください、また会員の会合参加にも期待します。



イベント開催に四苦八苦

足利市
岡本 政治

三和シヤッターOB会、30周年おめでとうございます。OB会関東支部長を若月様から引継ぎを受け7年活動をして参りましたが、当支部は関東5県にまたがり、支部総会やイベント等を計画するも、主催場所の近隣のOB諸氏の常連ばかりの参加でなかなか多くの方の参加が難しい支部のひとつです。今後皆様に参加しやすい方法で進めていってもらえれば...と思います。最後に三和グループの益々の発展を期待しています。



豪雪に悪戦苦闘

安曇野市
古瀬 良幸

信越支店/長岡営業所に赴任した昭和59年のこと。クリスマスイブの夜半から降り出した雪が1週間降り続き、瞬間に家や通路を覆いつくしてしまいました。屋根や通路の雪かきは地元の人達では当たり前の日常生活ですが、私にとって初めての経験で、身の危険まで感じた豪雪でした。皆様に助けいただき、迎えた春は最高の喜びを感じたものでした。



まだまだ元気で頑張ります

足利市
正田 敏寿(旧姓/木村)

在職中の各工場や関西や板橋本社、メンテにお世話になり、特に印象に残っているのは、広島工場⇒平成3年9月の台風19号の襲来で発注量が生産能力の4倍となり、早出深夜の残業、休日の出勤…。1ヶ月間徹夜での作業部署もありましたが全員協力し、何とか乗り切ることができました。感謝しております。現在は、OB会のイベントを最優先にまた家の近所の畑で野菜や果物を栽培し、また健康維持のため、週4～5日スポーツクラブに通って元気にやっております。



私と弓道

東京都墨田区
窪田 史郎

退職後12年目になりました。私は自宅が弓道場の関係で弓道漬の毎日です。今は全日本弓道連盟の業務執行理事の指導部会長として多忙な毎日です。弓道により日本と世界が平和になるようお願いしております。OB各位も弓道は心身の健康に良いのでお勧めします。



第二の人生の目標は古民家再生

上尾市
石山 佐市

OBの皆様、お元気にお過ごしでしょうか?私は築170年の実家の古民家再生を第二の人生の目標にして、楽しんでいます。

写真は西側表面の外壁改修の前後ですが、これまでに座敷やトイレの改修等を終え、今は最大の難関、水回りの改修に着手した所です。この冊子が発行される頃には更に改修が進んでいると思います。



趣味は広く浅く長くです。

横浜市
桑田 則幸

今から38年前会社の同僚から民謡教室に誘われたのが私の習い事の始まりです、最初は歌だけだったのが尺八まで手を伸ばし今でも地元の民謡教室で伴奏をしています。他にも木遣、ジム、水泳、男の料理教室、釣り、家庭菜園、旅行と皆長々とやっています。しかしこれといって人より特に秀でている物はありません、人に勝とうとか、人よりうまくなろうとか考えずマイペースでやる。これが広く浅く長くの私のモットーです。



生き甲斐

千葉市
板倉 伸一郎

三和シヤッターOB会30周年おめでとうございます。私も、卒業して早5年半、5年前に始めた陶芸は、初心者コースで1年間基礎全般を学びましたが、中々思う様な作品が出来ず、ひとつひとつ心を込めて作るしかない頑張っています。夢中になれるものが出来た事は、日々の生活に色が添えられ生き甲斐となっております。皆様も健康に留意し、何かひとつ時間を忘れて打込める事がある事の幸福を感じて頂けます様、祈っています。

中部支部



私のゴルフとの出会いは、岐阜工場勤務時代から



支部長 名古屋市
大洞 勤

岐阜工場勤務(26歳)の時に、当時の工場長に勧められ、クラブも頂き物で始めました。最初のラウンドは関ヶ原CCで、1ラウンド半をプレーし、ただ疲れたことだけが思い出として、残っています。それから5年間はあまり好きになれず、100を切れたのは10年後でした。その後色々なコースを回る(現在まで150コースぐらい)ことが楽しみになり、現在も年間30~40ラウンドしています。ゴルフは

全て自己責任であり、同じよう全てが違う状況が面白く現在もハマっています。今後も体が動く限り続けたいと思っています。私は中部支部長の三代目にあたり、今後もできる限りOB会の活動を積極的にやっていきたいと思っています。



支部で開催する事になって初代支部長の判断

名古屋市
伊藤 邦康

広いエリアをどうまとめようか?と苦慮しましたが、初代としては個人状況を知り、持ち回りの開催が1番と決め、近況報告一覧表・連絡網の作成と心がけるが、思うように進まず。電話・ハガキ等強力に進め各幹事・家族の協力を頂けるようになり、年々集約件数が増えたがまだまだ...これを次期支部長がよくまとめていただき満足しています。



スッキリとリフォーム

富士市
横山 壽雄

我が家で1昨年、外壁改修工事(断熱塗装ガイナ)を三和リ・ホームでお願い、今年の冬、朝部屋の温度が従来の四度から七度と、断熱効果抜群オススメです。野菜作り・パソコン・富士山の撮影と奔走、喜寿を迎え少々疲れ気味、要:体のリフォーム。



「我 未だ 蓄」会社に感謝

あま市
増田 英彦

平成20年より7年間二代目支部長をさせて頂きました増田です。「酒を飲む人花なら蓄今日も咲け咲け明日も咲け」私今も蓄です。毎日晩酌を楽しみ、謡を習いに月3回豊橋に通うも稽古より謡仲間との飲み会を楽しむ。OBはじめ仲間からのゴルフや諸々のお誘いは出席を旨とし楽しく過ごさせて頂けますのも是れ偏に会社のお陰と感謝感謝で一杯です。



高齢登山者です

野々市市
流 豊秀

昭和44年に入社、OB会員になってから10年になりました。定年退社後、長年住み慣れた東京三鷹市から石川県野々市市に移住しました。

地元の山岳会に入会し月に2~3度山に行っています。幸いまだ脚力、体力は大丈夫なようで北陸の山のみならず北海道、九州の山にも出かけます。

山に登り、温泉に入ってから帰るのが楽しみです。

関西支部



我が新人時代



支部長 豊中市
成瀬 全弘

人生の残りわずかを余す年となり改めて三和シヤッターに入社した頃のこと昨日の様に懐かしく思い出されます。初代故高山萬司社長が昭和31年に創業された8年後の昭和39年に当時尼崎市久々知にあり事務所兼工場面接を受け無事合格しました。初赴任地は大坂北営業所、所長以下営業員4名の所帯でした。何もかもが新鮮で仕事をすることが楽しくて仕方がなかったのを憶えています。

ます。その年の社員旅行の宴会の席上高山萬司社長から新人賞をもらったのは忘れたい思い出です。3年後に延25年間故郷大坂を離れ各地で仕事をさせてもらいましたが新人時代の充実した時間がその後の自分の人生を大きく決定づけたといっても過言ではありません。これからも三和ホールディングスグループ並びに三和OB会が益々活躍される事をOBの一員として願っています。



終活に思う

神戸市
大下 素明

私が三和に入社した時はオリンピックの年で、総務部でさんわの編集作業をし、その後不況により九州へ転勤し営業畑となりました。この異動が私のサラリーマン人生を決定付けることとなりました。最も思い出深いのは、阪神大震災です。自宅が神戸にあり東京に単身赴任をしていましたが、大坂に居られた多くの皆さんに献身的なお世話になり、その御恩は忘れることが出来ません。退職後、胃がんを発症しましたが、健康を取り戻し、元気に皆さんの仲間に入れて頂き、良い人生を過ごせて感謝しています。



親切お世話が一番

尼崎市
佐藤 吉男

建材30年、メンテ2年、田島メタル3年、65歳まで働けて幸せでした。高齢者大学6年通い、マジッククラブのボランティアに年20回以上の参加、老人ホームで笑顔もらっています。地元では民生委員幹事としても貢献しています。関西OB会では現役時代のお返しと思ひ皆様の手助けに協力させて頂いています。私の手帳は予定が一杯です。健康長寿の為、今日も外に出ます。



長いお付き合い

奈良市
南 史朗

古稀を迎えた。誰にも何事にも束縛されない自由な喜び。私には遠く離れながらもお付き合い頂いている仲間がいる。田舎の小中学校の同級生。大学時代の下宿仲間。会社の新規事業に携わった方々。そして関西OB会メンバー。其々とゴルフや旅行を楽しんでいる。良い人達に巡り合えた幸せに深く感謝しながら残りの人生を過ごしたい。人間到处有青山。



社会との繋がりを積極的に

京都市
山内 岩雄

定年後の第二の人生は社会と常に接点を持ち、社会に参加すべきと実感する今日このごろです。OB会の参加は同じ会社で勤め上げた者同士で遠足、定期的な幹事会、趣味の同好会などを通じ、又仲間から人生の過ごし方を見聞きするのも楽しく、又地域の文化的行事にも参加して実習を通し第三者の率直な意見を聞き社会との接点を得られるのも有意義であります。

中四国支部



OB会設立30周年に思うこと



支部長 広島市
田邊 正

三和シャッターOB会の皆様設立30周年お慶び申し上げます。中四国支部も会員が140名を超え大変喜ばしく思っています。支部範囲が9県と広範囲であるため、年1回の総会・懇親会が大きなイベントであり、その他は一部ではありますが各地域で交流のみです。今後は各地域での活性化を盛り上げていくにはどうすればいいのか諸先輩方の知恵を借りながらより多くの交流の場を作っていきたいと思えます。

私ごとですが、退職して家にいることも多くなり、健康第一を目標に、毎朝4~5キロのウォーキングと毎日三度の食事をとるよう心掛けています。日頃は近所の人たちと月に何度か食事等のコミュニケーションを図っています。家では今まで出来なかった事を時間に任せてポチポチやっています。

最後になりましたが、三和シャッター工業の益々のご発展と、OB会の皆様方のご健勝をお祈りいたします。



高齢者の眩き

岡山市
奥田 弘

退職後、時間が多く取れるようになると新聞テレビに目を向けることが増える。すると世の中意にそぐわぬことばかり、原子力発電、被災者、核の塵、政治家、裁判所、マスコミ等きりが無い。それでも日々の生活は妻の茶道教室の裏方全般を手伝って多くの若き人等が来てくれ話すことで気も若くなり癒され喜寿を過ぎても尚元気で楽しく過ごしている。



スローライフを楽しむ

倉敷市
中西 好昭

人生の最盛期を会社で終えて後の人生スローライフでと考え、地元の不動産屋でボケ防止にお手伝いをし自宅近くの畑で、季節毎の野菜と果樹作りを健康維持にのんびり楽しく暮しています。

年に一度三和の同期入社の方とそれぞれの故郷での顔合せ会は、今や年行事となり人生の清涼剤として大いに楽しんでいます。「有朋自遠方来不亦楽」



健康年齢のアップを目指して!

高松市
大西 正博

元々父がしていた葡萄作りを新短梢栽培法にシフトし、4年目を迎えた今年には新品種5種14本を増殖、あくまで趣味の範囲ですが。品種により自家製ワインにも挑戦、味は??春先は妻の実家に良質の筍が採れるため義兄と一緒に「こんぴら筍」掘りが楽しみです。また近年山登りを始め、ウェアやツールを取り揃え今秋は奥穂高岳に挑戦しようかと…。



今、『ハマッテ』いる事

廿日市市
木本 晴雄

定年になれば、のんびり旅行して、家庭菜園を楽しみ、ほんの少だけ運動をと勝手に思い描いておりました。

ところが現実!!

そんな時、脳梗塞になり、怖さと健康の有難さを痛感しました。今は、脳トレにハマッテいる日々です。特に「ナンプレ」と呼ばれるパズルに熱中しています。

皆さんもボケ防止の為、脳トレをおすすめ致します。

九州支部



団塊の世代と一極集中



支部長 筑紫野市
稲富 時彦

OB会設立30周年おめでとうございます。全国の皆様ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。九州支部はH28年3月現在111名が在籍され、皆さん現役・自治会の世話・家庭菜園・ボランティアなど、様々な分野に携り活躍をされています。昨今は、団塊の世代や少子高齢・一極集中など話題になっていますが、当支部も団塊の世代27名、その前後を含めると44名で全体の約

40%を占めています。また九州でも福岡の一極集中化が進み、福岡県内に79名(約71%)が居住されている現状です。このような状況のなか、出来るだけ皆さんが集える機会を設けようと、役員の方の協力を得、ゴルフ・親睦会などを企画し、実行中です。最後にOB会各支部の益々のご発展を祈念いたします。



最初で最後の老後の生活

佐賀市
蒲原 一成

定年後13年経ち、今はすこぶる健康で快適な毎日を過ごしています。生活は年金が主な収入源になるので、出来るだけ節約指向で図書館等無料で時間が費やせて、ボケ防止にもなるので利用しています。又健康的な生活を送る為に、肉体を鍛える事も大事なのでスポーツクラブ、テニスを週5日程度はやっています。このサイクルで毎日を生活しております。後10年位生きてピンピンコロリで終わりたい。



熊本地震

熊本市
坂井 由幸



皆さん御元気ですか三和エクステリア中九州でまだ現役してます。先日の震度7の二連発は強烈でした。幸い家族社員社も被害少く全員無事でした。神戸建材時も体験しましたが今回震源地が我家から5kmと近く揺れが長かったので怖かったです。忙しくなりますが写真の車のナンバーの様に三和愛 いい三和で頑張ります。壊れた熊本城見に遊びに来て下さい。復興支援になります!!



南九州OB会

鹿児島市
森 重承

三和シャッターOB会30周年おめでとうございます。今回の熊本地震におきましてお見舞い申し上げます。さて私もOB会員になり12年になりますが南九州OB会も12年になり年に1度2月に新年会を霧島で開催します。九州各地から参加して頂き約25名ぐらいで楽しい一夜を過ごします。又誰でも参加自由です、夫婦で参加してみたい、以上よろしくお願ひ申し上げます。



新人OB会員です!

福岡市
萩原 雅史

三和シャッターOB会30周年ですか?私は、昭和55年入社で37年間お世話になり、この4月にOB会に入らせていただきました。

昭和55年に若きエースとして南国薩摩、宮崎、柳川、佐賀と営業職を経験し、総務企画を4年、工場を7年メンテを1年、九州のみにて退職しました。これからはOB会の新人としてエースをめざしてがんばります!

本部より



三和シャッターOB会
相談役
第8代会長
石原 利朗
(2011年度～2013年度)

30周年を迎えたOB会ですが、その運営・活動費は、設立当初より入会金からその後必要となる慶弔積立金相当額を除いた残金で賄ってきました。このため会社からの寄付金は頂いていたものの、入会人員頼みの為、次第に活動資金が不足し、通信費にも事欠く事態となり、会員間の親睦を深めようにも活動ができず、役員の方々の悩みの種でした。そうした中で、会員の皆さんに運営協力金の寄付をお願いしたところ、多くの方のご理解・ご

協力をいただきました。お陰様で5年ほど前から、支部ごとに同好会が順次発足し活動を開始するに至りました。

今では、支部ごとに年間活動計画をたてて進めており、その結果をもとに支部長会議では意見交換を行い、新たな企画を模索しています。また、開設したOB会HPには、その活動状況を投稿願ひ、参加の場の拡大と参加者の増大を目論んでいます。また、2011年の東日本大震災の際は、想定された被災地域の全会員の無事がいち早く確認されほっとしたものです。ひとえに会員名簿と会員の皆さんの連携の賜物でした。

この先も、こうした活動を通して多くの皆さんの協力・参加をいただきながら懇親の輪を広げ、入りたいOB会として三和HDと共に40年、50年と歳月を積み上げていけるよう繋げていきたいと思ひます。

■OB会ホームページのご紹介

ホームページ運営委員長 **石山 佐市** ホームページ担当 **高橋 博**

当会のホームページは平成21年に開設されました。既にご存知と思いますが、改めて紹介させていただきます。URLは<http://sanwa3030.justhpb.jp/>又、YahooやGoogleの検索で『三和シャッターOB会』と入力しても閲覧できます。

ホームページとしては「本部・支部の行事計画」「同好会行事」「慶弔の報告」「新入会員の紹介」「保養所の情報・申込書」「三和HDからのお知らせ」「三和保険サービス」等々多くの情報を掲載し、OB会への関心を高めて頂ければと思ひしております。

特に“新着情報欄”では、各支部・ブロックが実施した“旬”の記事・写真等を紹介し会員間の“親睦”“情報交換の場”にして頂けるよう発信しています。各支部の皆さんの情報を支部長・ホームページ担当者を通して積極的な投稿をお願いいたします。更に各会員の皆さんが自由に投稿できる『掲示板』を設けております。旅行・趣味・近況・同期会等の情報をお待ちしております。

今後もホームページをより良い内容に充実させていきたいと思ひしております、会員の皆さんのご提案、ご意見もお待ちしております。よろしくお願ひいたします。

■本部役員



事務局より



三和シャッターOB会
事務局
太田 華南恵

この度は設立30周年、誠に
おめでとうございます。

OB会事務局担当になりまだ日は浅いですが、皆さまの優しさに救われながら、日々勉強をさせていただいています。

OB会員の皆さまとお話をして感じることは、『皆さま、とても元気!』ということです。退職後も仕事に興味に、活発に活動をされている方が多く、心も体も私より若いのでは?と、感銘を受けます。会社とOB会の窓口として、三和グループの歴史を作り上げてきた先輩の皆さまと、こうして交流ができることを大変嬉しく思ひます。

今後とも、皆さまのさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。



三和シャッターOB会
事務局(前)
中村 幸世

OB会設立30周年を迎えら
れるにあたり、謹んでお祝いを

申し上げます。微力ながら11年間程担当させていただきましたが、担当当初は会の皆様が年齢を感じさせない程のパワフルな方達ばかりでしたので、圧倒されたこともありましたが、OB会役員の方々は常に会の発展に力を尽くされており、そのご熱意は時に事務局側と意見がぶつかることもあり、太刀打ち出来ないほど勢いがありましたことを覚えています。担当者として大変なこともありましたが、それ以上に得られたことも多々あり、今は皆様にとても感謝しております。

今後もOB会のますますのご発展と併せて皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

編集を終えて



編集委員長
三和シャッターOB会
相談役
第6代会長
西村 正義
(2007年度～2008年度)

本年6月、OB会設立30周年を迎えるに当り、記念事業として記念誌を発行することに決定され6人の推進メンバーと会長、副会長を加えた計8名でまとめる事になりました。まず最初にOB会の過去の流れを調べるために、事務局の資料のチェックに努めるも、設立から11年間の必要資料が見つからず、又過去在籍された役員の方々は他界されており、内容を把握出来ず、現在健在でおられる元会長に確認するも、資料は破棄処分されており確認不能状態の中で、我々素人集団なりにまとめる事になりました。幸いにしてOB会が全国にわたって、本格的に活動を始めたのは全国に8支部を立ち上げた平成12年度からであり、我々はそれ以降を中心に資料集めを進めました。特に元会長にはそれ

ぞれの時代での課題について強調して頂きました。

最大の難問は資金の乏しいOB会にとって予算がどれくらい必要なのか確認するため、三和ホールディングス(株)の広報課で利用されている、日本ビジネスアート(株)を紹介して頂き、見積り依頼し、想像以上に高い金額に悩み、三和ホールディングスと三和シャッター工業に協力依頼した結果、寄付金を提供して頂く事になり、OB会の資金と合せ、記念誌発行が可能となり、メンバー一同胸を撫でおろし、編集に一段と力が入ったところでした。24ページにわたり、何とか我々でまとめる事が出来たのは、日本ビジネスアート(株)と三和ホールディングス(株)の広報IR部新子部長のご協力の賜物であり、御礼申し上げます。

OB会30年間の歩みがどの様に先輩から後輩に受け継がれて来たのか、紙面上に表現出来るかが課題でありましたが、元会長の方々と並びに全国各支部長と会員の皆様、そして三和シャッター工業(株)人事部厚生課の事務局の協力を得て紙面をまとめる事が出来感謝しております。誠にありがとうございました。

ありがとう！ 30周年



設立30周年記念誌

発行

2017年(平成29年)5月

三和シャッターOB会

30周年記念事業準備委員会

委員長 西村 正義
委員 黒武者 光文
委員 佐藤 友雄
委員 藤田 章雅
委員 宇高 正
委員 高橋 博
事務局 太田 華南恵

制作・印刷

日本ビジネスアート株式会社